

## 教職員アンケート『こんな堺支援にしたい』の結果について

### 1 回収率

令和元年度	令和2年度	令和3年度
169/169 (100%)	173/173 (100%)	168/168 (100%)

### 2 全体的な傾向

- ・教育活動に関するものについては、課題としては「備品や教材教具の活用」、「交流」等に絞られてきている。毎年、課題にあがっていた「道德教育」「清掃活動（清掃指導）」は改善している。また、その他の項目についても否定的評価は減少している項目が多い。
- ・学校経営に関するものについては、「校長・准校長のリーダーシップ」「校内人事や校務分掌」「教職員の連携」「施設・設備の拡充」「P T A活動」について十分ではないと感じている。「初任者等、経験の少ない教職員の育成」については、昨年度否定的評価が上がったが、今年は少し下がった。ただ、学部で数値の差がみられた。その他の項目については、半数以上に否定的評価が減少している傾向がみられる。

### 3 課題のある項目（Zを除き、C+Dが20%以上）

#### 【教育活動に関するもの】

**8 各教科の備品や教材教具が適切に配置され、活用されている。(27.7%→30.3%)**

#### 【学校経営に関するもの】

**22 校長・准校長は職員のやる気の喚起等学校教育の推進にリーダーシップを発揮している。(21.8%→30.3%)**

25 職員会議をはじめ部会や学年会が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。(16.5%→20.1%)

26 校務分掌・各種委員会は学校の実態に応じて適切に配置されている。(23.7%→20.4%)

27 各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。(23.1%→21.6%)

**28 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。(30.5%→31.8%)**

**32 施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。(21.4%→30.0%)**

35 職員はP T A活動に参加している。(29.0%→24.4%)

### 4 アンケートの問題点と今後の課題

- ・CやDにチェックする根拠や対策を知る方法の検討
- ・集計の効率化